

2021年 日本糖尿病理学療法学会 第6回症例報告学術集会 プログラム

日時：2021年3月14日（日） 9:00～16:50

総合進行役：長谷部 翼（立川相互病院）

9:00-9:10 開会挨拶 井垣 誠（日本糖尿病理学療法学会代表運営幹事）

午前の部

9:10-9:40 大会長講演(30分)

座長 増田 浩了（豊島病院）
演題 「糖尿病運動療法の見える化に取り組んできた30年間」
演者 天川 淑宏（東京医科大学八王子医療センター）

9:40-10:10 特別講演(30分)

座長 水谷 健（八王子山王病院）
演題 「最新の糖尿病治療の変遷と最新の治療」
演者 植木 彬夫（東京医科大学 名誉教授）

10:10-10:40 レクチャー：糖尿病食事療法(30分)

座長 下山 渉太（東邦大学医療センター大橋病院）
演題 「食事療法と運動療法の Interaction」
演者 西村 一弘（駒沢女子大学 教授）

10:40-11:10 レクチャー：糖尿病薬物療法(30分)

座長 伊藤 信人（高島平中央総合病院）
演題 「糖尿病治療における運動療法と薬物療法を考える」
演者 堀井 剛史（北里大学薬学部臨床薬学・教育センター薬物治療学 I 助教）

11:10-11:40 レクチャー：糖尿病患者の心と体(30分)

座長 高橋 忠志（荏原病院）
演題 「糖尿病患者の心と体～その糖尿病は誰のモチモノですか？～」
演者 豊島 麻美（武蔵野赤十字病院 糖尿病看護認定看護師）

11:40-12:10 パネルディスカッション(30分)

座長 水谷 健、高橋 忠志
テーマ：「糖尿病治療の Interaction」
パネリスト 植木 彬夫、西村 一弘、堀井 剛史、豊島 麻美、天川 淑宏

12:10-12:40 休憩(30分)

午後の部

12:40-13:40 セッション1 指定症例報告(各 30 分)

座長 木村 壮介 (埼玉石心会病院)、林 萌美 (海老名総合病院)
下山 渉太 (東邦大学医療センター大橋病院)

- S1-1 演者 金井 弘徳 (大森赤十字病院)
「多職種が発信する個別性の高い運動療法指導に役立つ“キーワード”を求めて」
- S1-2 演者 馬上 泰次郎 (コーレメディカルクリニック広島)
「訪問リハビリテーションにおける糖尿病療養指導の視点
～経口糖尿病薬の離脱からライブイベントの対応まで～」

13:40-13:50 休憩(10 分)

13:50-15:10 セッション2 一般症例報告(各 20 分)

座長 金井 弘徳 (大森赤十字病院)、藁谷 里砂 (JMA 介護老人保健施設アゼリア)
増田 浩了 (豊島病院)

- S2-1 演者 田村 拓也 (八戸市立市民病院)
「HbA1c (NGSP) 20.0%のコントロール不良の糖尿病患者を担当して」
- S2-2 演者 高橋 勇貴 (練馬光が丘病院)
「複数回の教育入院を経てもセルフケアの獲得に至らなかった症例」
- S2-3 演者 松尾 美来 (順天堂大学医学部附属順天堂医院)
「糖尿病性舞踏病症例に対する理学療法介入」
- S2-4 演者 大嶋 華鈴 (高島平中央総合病院)
「女性 2 型糖尿病患者へ外来リハビリテーションにて運動指導を行った一例
～行動変容モデルの変化と体重変動～」

15:10-15:20 休憩(10 分)

15:20-16:40 セッション3 一般症例報告(各 20 分)

座長 児玉 優太 (杏林大学医学部付属病院)、新井 康弘 (練馬光が丘病院)
伊藤 信人 (高島平中央総合病院)

- S3-1 演者 天野 晋 (徳島健生病院)
「右足趾壊死による下腿切断となり、義足歩行獲得まで行動変容に基づいて
理学療法を行った一症例」
- S3-2 演者 浅田 史成 (大阪労災病院治療就労両立支援センター)
「20 歳代で糖尿病と診断された後、未受診による腎症悪化症例における
治療と仕事の両立支援をふまえた関り」
- S3-3 演者 四宮 涼太 (徳島健生病院)
「血管機能をアウトカムとして中強度以下の短期的運動療法を行った
緩徐進行 1 型糖尿病の一症例」
- S3-4 演者 相澤 郁也 (三咲内科クリニック)
「低体重 2 型糖尿病患者に対する理学療法士および管理栄養士との連携が
筋量維持を伴う運動機能向上につながった一症例」

16:40-16:50 閉会挨拶 小山 昭人 (市立札幌病院)

16:50 終了